



日本野球科学研究会

令和2年度特別企画パネルディスカッション



野球科学とプロ野球の接点 ～ プロ球団で活躍するアナリスト達～

日時：令和2年**12月14日**（月）18:00-19:10

方式：Web会議方式（ZOOM利用）

シンポジスト

金堀 哲也氏	（東京読売ジャイアンツ）
城所 収二氏	（福岡ソフトバンクホークス）
藤澤 剛氏	（東京ヤクルトスワローズ）
星野 健太郎氏	（千葉ロッテマリーンズ）
吉川 健一氏	（横浜DeNAベイスターズ）

モデレーター

松尾 知之氏	（大阪大学医学系研究科 准教授）
神事 努氏	（國學院大学人間開発学部 准教授）

概要

現代野球では、Statcastを始めとする、さまざまな機器の発展により、試合の現場から大量のデータを収集することが可能となっており、そのデータの活用法がチームの浮沈に重要な役割を果たすようになってきている。NPB各球団は、データ解析のために戦略室を設け、データアナリストを採用するようになった。このアナリストの存在や業務内容は、野球関係者にとって、非常に興味深いものであるが、あまり十分には知られていない。

本企画では、NPB球団のアナリストをパネリストとしてお招きし、データアナリストには、どのような知識や能力が必要とされるのか、プロの世界の分析法をアマチュアの現場で行おうとすると何ができ、何が障壁となるのか、あるいは大学などの研究機関との連携により障害予防などに画期的な成果を挙げることはできないか、等々、基本的なことから将来の夢物語に至るまで、アナリストの現状と将来の可能性について議論する。

参加資格：日本野球科学研究会会員

参加費：無料

参加申込

会員宛てに送られたメール（11月中旬発送予定）に記載のメールアドレスに必要事項を書いたメールを送信してください。ZOOMのURLを記載した返信メールを送付します。

